

第744回 新潟医学会次第

第744回新潟医学会を下記の要領によって開催致しますので何卒多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

日時 令和元年12月14日(土) 午後1時30分から
会場 新潟大学医学部 有壬記念館

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (午後1時30分～2時) 座長 林 由香 先生 (循環器内科学)

「褐色脂肪由来代謝産物による心不全発症機序の解明」

吉田 陽子 先生 (先進老化制御学 特任助教)
今回我々は、褐色脂肪不全が全身の代謝不全を介して心臓リモデリングを惹起し、心不全を増悪させることを見出しました。心不全モデルマウスでは、心機能の低下とともに褐色脂肪機能が低下した。さらに不全褐色脂肪に由来する代謝物質によりミトコンドリアが傷害され、心筋細胞の代謝リモデリングが生じることが示唆された。これらの結果より、褐色脂肪の恒常性維持が新たな心不全の治療ターゲットとなる可能性が示唆された。

II. 特別講演 (午後2時～2時30分) 座長 土田 正則 先生 (胸部外科学 教授)

「弓部大動脈解離用デバイスの開発と
頸動脈微小栓子シグナル検出および地震後静脈血栓塞栓症予防対策」

榛沢 和彦 先生
(先進血管病・塞栓症治療・予防講座 特任教授)
低侵襲で大動脈解離を治療できるデバイスをAMED事業で実用化を目指し、頸動脈微小栓子シグナルを用いた動脈硬化疾患や心房細動を早期発見する事業の実用化を目指している。また新潟県中越地震後から災害後の静脈血栓塞栓症の予防を研究し、地震直後から小千谷市、十日町市、柏崎市で毎年エコー検診を行って超長期のVTE観察研究となっている。またトヨタなど自動車会社と車中泊関連死0活動を行っているので御報告する。

III. 特別講演 (午後2時30分～3時) 座長 池内 健 先生 (脳研・遺伝子機能解析学 教授)

「アルツハイマー病の原因遺伝子と感受性遺伝子
：我々の取り組みと国内外の最新事情」

宮下 哲典 先生
(脳研・遺伝子機能解析学 准教授)
アルツハイマー病 (Alzheimer Disease : AD) は遺伝要因を背景に環境要因が加わって潜行性に発症し、緩徐に不可逆的に進行する「ありふれた疾患」である。これまでに連鎖解析、ゲノムワイド関連解析、全エクソーム解析、全ゲノム解析によってAD関連遺伝子が見出されてきた。本例会では我々の取り組みを紹介すると共に、国内外から報告された最新情報を交え、ADの原因・感受性遺伝子の理解を深め、議論する。

IV. シンポジウム/新潟市医師会女性医師委員会講演会 (午後3時～5時)

司会 八木澤久美子 先生
(新潟市医師会女性医師委員会委員長・クラクニック 院長)
白柏 麻子 先生
(新潟市医師会理事・白柏眼科 院長)

「医師の働き方改革の行方 ～女性医師の力をどう生かすか～」

1. Clinician - scientist の視点で考える 堀 純子 先生 (日本医科大学眼科学 教授)
「女性医師の活躍とダイバーシティ推進」
2. 病院管理者から見た女性医師 塚田 芳久 先生 (新発田病院 院長)
3. 当科における育児支援の取り組み 塚野 真也 先生 (新潟市民病院小児科 部長)
4. 医師が働きやすい職場を目指して 中枝 武司 先生 (腎・膠原病内科学 総括医長)
5. 総合討論

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大学院特別講義

大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎致します。参加料は無料、事前申込の必要はございません。自由に御参加下さい。
当日は医学部職員駐車場のゲートが開いておりますので、ご利用下さい。